

枅富町長 皆さん、おはようございます。本日、ここに令和6年第1回定例会を招集いたしましたところ、議員各位におかれましては、公私何かとご多用中のところ、ご出席を賜り誠にありがとうございます。行政報告、議案説明に先立ちまして、年度の始めとなりますので、町政の取組みに対する一端を述べさせていただきまして、議員各位のご理解とご指導を賜りたいと存じます。牟岐町は現在、海部郡衛生処理事務組合ごみ焼却施設「海部美化センター」の改築や、災害時防災拠点の機能を備えた、役場新庁舎及び海部消防組合本部・牟岐出張所消防新庁舎の建設に向け、敷地造成設計・新庁舎建設設計の業務を発注しており、これら施設の早期建設をめざします。南海トラフ巨大地震対策としましては、2月14日に、町全体が取り組む非常に重要な計画である、第1回牟岐町国土強靱化地域計画の検討委員会を開催し、牟岐町の更なる強靱化に向け見直しをしています。また、令和6年4月1日から防災対策の専門家として危機管理監を任用します。危機管理監の役割としては、南海トラフ巨大地震などの大規模災害及び自然災害が発生した緊急時に、初動対処に万全を期すため、迅速かつ的確な意思決定を行い、各課の横断的、総合調整的な役割を担うと共に、徳島県・警察・消防・自衛隊など、他の関係機関との協力体制を築きます。平時は事前復興計画の策定、牟岐町地域防災計画の見直しを進め、地区防災に関する助言等、主にソフト面における災害対策を総合的に練り上げ、1人でも多くの命が助かるように避難路及び避難場所の整備など、あらゆる方向から考えながら施策を展開してまいります。次に、本町では持続可能なまちづくり推進のため、地域課題解決への取り組みとして、牟岐町総合戦略を策定しており、「牟岐町への新しい人の流れをつくる」「牟岐町で安心して働ける雇用の場をつくり、これを支える人材をつくる」「結婚・出産・子育ての希望を叶え誰もが活躍できる地域社会をつくる」「時代にあった地域をつくり、安心して暮らしを守るとともに、地域の連携をつくる」の4つの基本目標を掲げ、地方創生の推進に取り組んできましたが、人口減少に歯止めはかかっていません。人口は、町の体力であり、少しでも人口減少を食い止めていかなければなりません。移住につながる施策として「交流人口」、「関係人口」を増やしていくため、牟岐町に継続的に関わってくれている大学生の取り組みを今後も支援して参ります。また、「モラスコむぎ」との連携や、「牟岐ふるさと会」活動で、「牟岐ゆかり店」の情報を収集、発信し牟岐人の輪を育み、不慣れな土地で孤立せず相談できる拠点として、全国に散らばった牟岐人マップを作成し、町とのつながりをより深めていただく取り組みを推進してまいります。一次産業の振興としましては、引き続き農林水産業の方々と協議し、知恵を出し合い、今後の一次産業の活性化施策を展開したいと考えています。なお、後継者の育成、若い世代の取り組みについては、特に支援を続け

てまいります。商品開発・特産品開発の点では、引き続き文理大学がJAと連携し、もち麦、実生ゆずなどを活用した特産品の開発を進めていますので、水産資源栽培センターを活用して共同研究しているヒトエグサや、ジビエ活用とも連携を図り、ふるさと納税返礼品や、町内飲食店での新たなメニューの開発に取り組んでいただけますよう支援を考えていきたいと思っております。次に、少子化対策としましては、子育て世代包括支援センター「むぎ子育て応援室むぎゅっと」を開設しており、妊娠期から子育て期への総合的な窓口となり、相談支援や関係機関との連絡調整を行い充実したサポートを行っています。引き続き不妊治療費の助成、妊娠届の受理、妊産婦への相談支援や各種教室の案内、乳幼児相談、検診、発達相談等を行っています。また、助産師によります相談・訪問事業である産前産後サポート事業と、産後ケア事業も引き続き行い、妊産婦の不安軽減を行うとともに産後ケアの充実に努めてまいります。高齢者支援としましては、高齢者の健康寿命延伸のために、これまでのように様々な取り組みを行い、老人会や社協、各事業所等のご協力をいただきながら、高齢者の生きがいと健康づくりに取り組み、みなさまが住み慣れた牟岐町で人生の最後まで自分らしく生活できるよう、今後も取り組みを実施してまいります。道路網の整備促進に関しましては、阿南安芸自動車道、牟岐バイパスの早期完成に向け、徳島県をはじめ関係自治体と連携し、国への要望活動に取り組み、交通網の充実を図ります。今後は大型事業が重なり、財政状況が大変厳しい牟岐町ですので、緊縮財政に努めなければなりません。事務事業の見直しも必要になると思っておりますが、牟岐町を元気にするため、みんなで知恵を出し合い、ひとつひとつ誠意をもって、それぞれの課題解決に向けて、これからも取り組みを進めてまいりますので、今後の皆さま方のご指導、ご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。次に、議案等の提案説明に入る前に、12月議会以降の町政の動き、主な事務事業の進捗状況など行政報告をさせていただきます。総務課関係では、1月28日に全町地震津波避難訓練を実施しました。訓練終了後には、デジタル推進課と連携し、ゲーム感覚で参加できるインパーソン型「防災アトラクション」や、津波災害疑似体験ができるVR動画体験コーナーを開設し、防災啓発を図りました。また防災整備として、避難場所表示看板設置工事を発注しています。役場新庁舎・消防新庁舎建設事業では、建設のベースとなる造成設計・配置計画について設計業者と協議を開始しています。能登半島地震被災地支援では、3月2日から3月8日まで一般男性職員1名を輪島市へ派遣しています。デジタル推進課関係では、新庁舎建設に係るネットワーク移行支援業務の公募型プロポーザルを実施し、業者選定を行っています。また、LINEによるフォトコンテストを行ったところ151点の応募がありました。住民福祉課関係では、住民税均等割のみ課税世帯に

対する1世帯10万円の給付を3月1日より開始しています。また住民税非課税世帯及び住民税均等割のみ課税世帯に対し、18歳以下の子ども1人あたり5万円の給付金も、同日給付させていただきました。健康生活課関係の保健事業では、総合健診を1回、エコー検診を5回実施した他、ヘルスマイト事業関係で、全世代に広げよう健康寿命延伸プロジェクトや郷土料理・メンズクッキングを開催しました。母子保健事業では、乳幼児相談を4回、乳幼児健診・離乳食教室をそれぞれ1回実施し、自殺予防対策として、中学生を対象にした助産師によるいのちの授業を行いました。介護予防事業では、徳島大学より資格認定を受けた健康寿命マスターを講師として迎え、老人クラブの方を対象に健康寿命を延ばすための研修会を開催しました。産業課関係では、牟岐町観光協会的主催により「第41回牟岐町観光磯釣大会」が、12月24日に開催され、多くの釣り客に参加をいただきました。地産地消事業として、学校給食に地元で獲れたアオリイカを使用したメニューや、牟岐のお米のブランド「牟岐むすび」を提供することができました。また、徳島県庁職員食堂において、牟岐町食材フェア県庁食堂と題し、牟岐町内で捕獲されたシカのジビエ料理・イセエビ・アオリイカを、期間限定ですが、提供することができました。文化庁が認定する100年フードに「浜節句」の登録を目指して、令和6年度に登録に必要な調査を実施します。企画政策課関係では、大学生と地域の交流によるにぎわい創出や関係人口拡大を目指す「県南地域づくりキャンパス」事業により、1月、2月に「徳島大学建築サークルAUT」が、旧船戸荘で製作している薪小屋の塗装作業や、牟岐保育園に寄贈するおもちゃの製作、集落支援員による薪割体験等の地域実習を行いました。「徳島文理大学食物栄養学科もちっとむぎゅっとの会」では、JAかいふ牟岐事務所、女性部と連携し、モリंगाレシピの作成を行いました。全16のレシピが完成し、3月中に牟岐町デジタルブック等で公開予定となっています。「デジタル田園都市国家構想交付金」を活用した「若者の人材循環を起点としたまちづくりプロジェクト」により、1月に「HLAB TOKUSHIMA-MUGIホームカミング」を開催しました。2014年にHLABサマースクールが開催されてから10年を迎え、これまで関わってきたメンバーや、現役の大学生を交え、10年間の歴史を振り返ると共に現在の牟岐町の状況を紹介し交流を深めました。2月には、「コロナ禍からの再生、さらなる進化へ」と題し、牟岐町で活動する大学・学生・学生団体による活動事例発表会を、対面とオンラインのハイブリッド方式により開催し、町民の皆さまに多数ご参加いただきました。3月には、定期検査期間、出羽島連絡船が運休となるため、徳島県磯釣渡船協同組合が海上タクシーによる代替え運航を行い、出羽島にお住いの方々の離島航路の確保を行う予定です。建設課関係では、繰り越し事業の県単急傾斜地

崩壊対策工事2件が竣工し、八坂地区残土処理場整備工事を発注しています。災害復旧事業は、灘線災害査定測量設計委託の委託業務が完了し、町道小張山線、町道灘線、観音寺川、立石谷川の4件の災害復旧工事を発注しています。また、民間建築物耐震化支援事業で1件の耐震診断が完了し、空家対策総合支援事業で5件の除却、空家改修等支援事業(除却)で1件、ブロック塀の除却1件を完了しています。教育委員会関係では、新しく二十歳となった方々を迎え「牟岐町二十歳の集い」を1月3日に実施したのを皮切りに、1月21日には「牟岐町新春婦人の集い」、1月24日には牟岐小学校2年生17名による図書館見学を開催しました。また、電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金を活用して、3月分の児童生徒の給食材料費となる給食費を無料とすることとしました。今後も、事業等の進捗状況等ご報告させていただきますので、皆様のご指導、ご助言をよろしくお願い申し上げます。それでは、本定例会の提案説明に入りたいと思います。それでは、本定例会の提案説明に入りたいと思います。タブレットの会議資料一覧から、3月議会議案書をご覧ください。本定例町議会に提出の案件は、報告1件、議案20件です。議案の内訳は条例関係7件、補正予算2件、当初予算6件、その他5件です。報告第1号専決処分した事項の承認。専決第1号牟岐町手数料条例の一部を改正する条例。戸籍法の改正に伴い、3月1日から戸籍の広域交付が開始されるにあたり、牟岐町手数料条例の改正が必要であったため、2月15日付けで条例改正の専決をさせていただきます。専決第2号令和5年度牟岐町一般会計補正予算。タブレットの左上にあるリストから2月専決補正予算案(一般会計)をお開きください。この専決予算は、物価高騰対応重点支援として、23年度住民税均等割のみ課税世帯へ低所得者世帯等重点支援給付金を給付するため。また、23年度住民税非課税世帯及び均等割のみ課税世帯で18歳以下の子供へ、低所得子育て世帯等重点支援給付金の給付を3月中に完了するため、2月15日付けで専決をさせていただきます。歳入歳出それぞれ総額1,672万5千円を追加し、予算総額を37億3,739万4千円とする令和5年度牟岐町一般会計補正予算です。議案第1号特別職の指定に関する条例の全部を改正する条例。タブレットのリストから3月議会議案書をお開きください。改正内容は、町長及び議長の専任秘書を特別職として指定する現行の制度を廃止し、新たに危機管理監を特別職として指定するための条例の全部改正です。議案第2号牟岐町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例。改正内容は、会計年度任用職員に対して勤勉手当を支給することに伴い、条例の一部の文言を改正するものです。議案第3号牟岐町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例。改正内容は、一般職の職員の給与に関する法律等の一部を改正する法律の公布に伴い、地方自治法が改正されたことにより、

給与の種類に、新たに在宅勤務手当を加えるものです。議案第4号牟岐町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例。改正内容は、地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴い、令和6年度から、会計年度任用職員について、常勤職員と同様に勤勉手当を支給するものです。議案第5号牟岐町介護保険条例の一部を改正する条例。改正内容は、介護保険法の改正に伴い介護保険料率を変更するものです。議案第6号出羽島漁港管理条例の一部を改正する条例。改正内容は、法律名が「漁港及び漁場の整備等に関する法律」に変更されたことに伴い所要の名称変更を行うものです。議案第7号牟岐町簡易水道給水条例の一部を改正する条例。改正内容は、水道法等による権限が厚生労働大臣から国土交通大臣及び環境大臣に移管されることによるものです。議案第8号物品購入契約の変更。第7分団の小型動力ポンプ付積載車の購入に際し、艀装費用の追加が発生したため、契約金額の増額について、議会の議決を求めるものです。議案第9号物品購入契約の変更。第6分団の消防ポンプ自動車の購入に際し、車体の安全基準の見直しに伴い納期に変更が生じたため、議会の議決を求めるものです。議案第10号工事請負契約の変更。令和5年度道路メンテナンス事業奥谷トンネル修繕工事について、変更工事請負契約を締結するため議会の議決を求めるものです。変更後の工期は令和5年9月16日から令和6年7月31日です。議案第11号令和5年度牟岐町一般会計補正予算。タブレットのリストから、3月補正予算案（一般会計）をお開きください。今回の補正予算は、総額で2億2,987万2千円の減額となっています。歳出の主なものを挙げますと、2款・総務費のデジタル推進費で新庁舎建設に係るネットワーク移行支援業務委託料を減額。庁舎建設費で、同じく新庁舎建設に係る設計業務費及び調査業務費などの委託料を減額。3款・民生費の老人福祉費で海部郡特別養護老人ホーム事務組合分担金などを追加。4款・衛生費の繰出金で牟岐町簡易水道事業会計繰出金を計上。5款・農林水産業費の林業振興費で牟岐町単除間伐事業補助金などを計上。7款・土木費の土木総務費で八坂残土処理場整備工事費などを計上。9款・教育費の学校給食費で給食材料費などを追加、総合文化センター施設管理費でセンターホールエアコンリース料を減額。歳入では、繰入金・繰越金のほか、分担金負担金、県支出金、町債、諸収入などを特定財源として充てています。歳入歳出、2億2,987万2千円を減額し、予算総額を35億752万2千円とする令和5年度一般会計補正予算です。議案第12号令和5年度牟岐町簡易水道事業会計補正予算。タブレットのリストから3月補正予算案（水道事業会計）をご覧ください。収益的収入で企業債利息償還金繰入158万5,881円と従来の出羽島簡易水道の補填分を一般会計からの補助金として110万円計上し、水道事業収益の総額を1億5,223万2千円、収益的支出で営業費

用配水管等修繕費を減額し、営業外費用支払利息及び企業債取扱諸費を増額しています。なお、収益的支出の支出総額については、変更ありません。議案第13号令和6年度牟岐町一般会計予算。タブレットのリストから当初予算案（一般会計）をご覧ください。令和6年度の予算総額は、31億1,295万1千円で、令和5年度当初予算額より1億6,393万円の減額予算となっています。新年度の予算で、新たなもの、特徴的なものについて述べます。まず、人件費ですが総額で3,599万8千円の増額となっています。前年度と比較して、危機管理監の新規任用及び一般事務の正規職員が1名の増、一般事務の会計年度任用職員が2名増の人件費総額となっています。38ページ、1款・議会費は21万4千円の増額です。前年度とほぼ同程度の予算編成です。40ページ、2款・総務費は1,479万2千円の増額です。財産管理費で中村地域活性化センター駐車場整備工事費、デジタル推進費で住民情報システム標準化移行業務委託費、庁舎建設費で設計業務費を計上しています。56ページ、3款・民生費は1,845万6千円の増額です。社会福祉総務費で介護給付費、老人福祉費で海部郡特別養護老人ホーム事務組合分担金が増額。児童福祉総務費で児童手当システム改修委託費を計上しています。69ページ、4款・衛生費は2,014万8千円の減額です。主に新型コロナウイルス対策費でワクチン接種に関する費用の減額によるものです。清掃費で海部郡衛生処理事務組合負担金が前年度より増額となっています。75ページ、5款・農林水産業費は3,778万9千円の減額です。主に林業振興費で林道内妻線改修事業の減額によるものです。地籍調査費は増額。水産業費は広域漁業整備事業負担金が減額となっています。83ページ、6款・商工費は、223万9千円の増額です。観光費でマリノフェスティバル補助金を計上。地域振興費で地域おこし協力隊など人件費が増額しています。88ページ、7款・土木費は、1億1,013万9千円の減額です。主に道路メンテナンス事業費及び民間住宅環境整備費の減額によるものです。過疎対策事業で町道横町線・瀬戸川南線改良事業費を計上しています。95ページ、8款・消防費は、3,116万8千円の減額で、主に非常備消防費の消防ポンプ車購入事業による減額です。常備消防費で海部消防組合負担金が前年度より増額となっています。98ページ、9款・教育費は、2,713万8千円の増額です。牟岐小学校費で改定に伴う指導書・教科書購入費、町民プール運営費で町民プール修繕事業費、総合文化センター施設管理費でホールエアコンリース料などを計上しています。114ページ、10款・災害復旧費は、前年度と同額です。115ページ、11款・公債費は、2,752万5千円の減額です。116ページ、12款・諸支出金、117ページ、13款・予備費は、令和5年度と同額です。続きまして、歳入です。5ページ、町税は、前年度比688万7千円減額です。

7ページ、地方譲与税は、343万4千円減額です。8ページ、利子割交付金は2万円減額です。9ページ、配当割交付金は190万円増額です。10ページ、株式等譲渡所得割交付金は240万円増額です。11ページ、法人事業税交付金は690万円増額です。13ページ、環境性能割交付金は100万円増額です。15ページ、地方交付税は、1,500万円増額です。16ページ、分担金負担金は、7,336万6千円減額。道路メンテナンス事業負担金の減額によるものです。17ページ、使用料手数料は、40万7千円減額です。19ページ、国庫支出金は3,364万2千円の減額です。主に道路メンテナンス事業及び建築物耐震対策緊急促進事業補助金による減額です。デジタル基盤改革支援補助金は増額。子ども・子育て支援事業費補助金を計上しています。25ページ、県支出金1,631万5千円減額です。主に補助宮林道事業補助金による減額です。31ページ、寄付金は99万9千円減額です。32ページ、繰入金は、1,945万4千円の増額です。減債基金2千万円と財政調整基金3億7千万円を取崩し、事業の財源としています。34ページ、諸収入は1,488万6千円の増額です。雑入で高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施委託金、八坂残土処理場建設残土発生処理費を計上しています。36ページ、町債は、当初に過疎債、緊急防災・減災事業債、臨時財政対策債を合わせて3億4,350万円を計上しています。前年度より9,040万円の減額となっています。一般会計について、大まかな説明となりましたが、詳しくはのちほど、関係課長などから説明をさせていただきますので、よろしくお願ひします。

議案第14号令和6年度牟岐町簡易水道事業会計予算。タブレットのリストから、当初予算案（水道事業会計）をお開きください。令和6年度の業務予定量としては、給水戸数2,010戸、年間総給水量58万9千 m^3 、1日平均給水量1,614 m^3 とし、収益的収入を1億4,847万円、収益的支出を1億4,564万9千円と定めるものです。資本的収入は1,165万円、資本的支出は4,037万3千円で不足する額は、過年度分損益勘定留保資金で補填します。議案第15号令和6年度牟岐町国民健康保険特別会計予算。タブレットのリストから当初予算案（国保特別会計）をお開きください。歳入歳出当初予算総額を6億3,008万4千円と定めるもので、前年度に比べ3,320万4千円の減額予算です。歳出では、保険給付費で2,711万9千円の減額、国民健康保険事業費納付金で544万4千円の減額となっています。歳入では、保険税が前年度に比べ737万3千円の増額、県支出金が3,108万3千円の減額となっています。また、2月28日に開催された国民健康保険運営協議会において、保険税率の改定が承認されましたので、詳しくはのちほど、担当課長から説明をさせていただきます。

議案第16号令和6年度牟岐町青少年健全育成センター特別会計予算。タブレットのり

ストから、当初予算案（育成センター特別会計）をお開きください。歳入歳出予算の総額を827万9千円と定めるものです。この会計は、美波町と海陽町の負担金と牟岐町の一般会計から145万8千円の繰入金を財源とする会計です。議案第17号令和6年度牟岐町介護保険特別会計予算。タブレットのリストから、当初予算案（介護特別会計）をお開きください。歳出は、保険給付費6億5,267万6千円、地域支援事業費4,120万2千円などを計上しています。歳入は、介護保険料1億428万2千円、国庫支出金2億2,175万3千円、県支出金8,821万8千円、支払基金交付金1億8,140万5千円、一般会計からの繰入金は、1億867万5千円となっています。歳入歳出当初予算総額を7億433万5千円と定めるものです。議案第18号令和6年度牟岐町後期高齢者医療特別会計予算。タブレットのリストから、当初予算案（後期特別会計）をお開きください。この会計は、後期高齢者医療の保険料を徴収し、一般会計からの保険基盤安定負担金分の繰り入れと合わせて、後期高齢者医療広域連合への給付金として支出する会計です。歳入では、特別徴収、普通徴収を合わせて、7,856万円の保険料、一般会計繰入金3,307万8千円など、歳出では、広域連合納付金1億1,125万円となっています。歳入歳出当初予算総額をそれぞれ1億1,367万2千円と定めるものです。議案第19号人権擁護委員の推薦。新たに人権擁護委員に、濱内一明氏を推薦するため議会の議決を求めるもので、任期は令和9年6月30日までとなります。議案第20号人権擁護委員の推薦。新たに人権擁護委員に、小磯博之氏を推薦するため議会の議決を求めるもので、任期は令和9年6月30日までとなります。詳細につきましては、担当課長などからご説明をさせていただきますので、よろしくお願い申し上げます。